

2022/5/16

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週末までのマーケット動向(5月9日～5月13日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,272.0	1,291.5	1,272.0	1,284.2	+11.5
JPY/KRW	9.7300	10.0478	9.7171	9.9736	+0.224
KOSPI	2,634.32	2,642.75	2,546.80	2,604.24	▲40.27

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は続伸した。6日の米雇用統計は雇用者数の増加に加え、平均時給の上昇がインフレ加速懸念として捉えられ、米10年債利回りは2018年来の最高利回りとなる3.2%台に肉薄。一方で為替市場は既にドルロングポジションが相応に積みあがっていることから、想定ほどドル買いとはならず、9日のドル/ウォンは1,272.0にてオープンした。10、11日は特段大きな材料なく、ドル/ウォンは動意に乏しい展開ではあったものの、11日海外時間に発表された米CPIが予想比強いものとなると、市場は強いインフレによる景気鈍化を懸念。12日にドル/ウォンは年初来高値1,291.5まで上昇した。しかし、節目の1,300が近づいたことによる当局による為替介入への懸念や株式市場に押し目買いが入ったこと等ありドル/ウォンは反落。結局、先週末対比11.5ウォン上昇した1,284.2ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは下値を固める展開を予想する。パウエルFRB議長による50bpの利上げが望ましいとの発言を受けて市場からは過度な利上げ懸念が後退し、足許はややリスクオンムードとなっている。しかしながら、金利上昇に加え原油価格も上昇する等、ウォン買い材料が乏しい状況は変わっていない。5月BOK会合(26日)での利上げの警戒感はあるものの日数的にはまだあり、目先は市場のドル買い圧力をうけてドル/ウォンが底堅く推移する展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1265 ~ 1295	9.70 ~ 10.05	128.5 ~ 130.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 16日(月) 米 5月 NY連銀製造業指数
中 4月 鉱工業生産
中 4月 小売売上高
- 17日(火) 欧 1Q GDP 改定値
米 4月 小売売上高
米 4月 鉱工業生産
- 18日(水) 欧 4月 CPI 確報値
日 3月 鉱工業指数 確報値
米 4月 住宅着工件数
日 1Q GDP 速報値
- 19日(木) 米 4月 中古住宅販売件数
日 4月 貿易統計
日 3月 機械受注
- 20日(金) 欧 5月 消費者信頼感指数 一次速報
日 4月 CPI